

第25回水とくらしの110番シンポジウムのご案内

民営化でどうなる？ 水道の安全・安心・危機管理

持続可能な水道をめざして



2015年3月の大阪市議会で、水道民営化条例案が否決。2016年2月に修正案が提案されましたが3月に継続審議扱いとなっています。市民の大切なライフラインである大阪市の水道は、市の財政と市民が支払う水道料金により、発展してきた歴史のある市民の財産です。また、その技術力は高水準にあります。しかしながら、南海地震や直下型地震への対応、水道水源の監視・環境保全、水道管や浄水場などの老朽化施設の更新などの課題が山積しています。

経費削減のために、ライフラインの守り手であるはずの人員体制を縮小して大丈夫なのか？民営化されれば、利潤を生みだすことが最優先となりはしないのか？一日たりとも欠かせない命の水を供給する水道の民営化について、市民自らが真剣に考えるべき時がきています。

本シンポジウムでは、各分野からご報告いただくとともに、持続可能な水道のあり方についてご議論いただきます。

開催日時 2016年10月29日(土) 13:30～17:00 (受付開始 13:00)

会場 エルおおさか 6階 大会議室 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩300

参加費 無料

基調講演 「水道を取り巻く情勢と展望について」(仮題) 作新学院大学 太田 正 先生

特別報告 大阪市のプラン(大阪市水道局様に要請中)、大阪市議会の状況(日本共産党 山中 智子氏)、大阪市民・他都市の市民から見た大阪市の水道(大阪市民、近隣市民を予定)、大阪市交通局の入札に関する住民監査請求について(大阪市民ネットワーク)ほか

※終了後、交流会(会費3,000円程度)を予定していますので、こちらへもぜひご参加ください。



主催 近畿水問題合同研究会 後援 大阪自治体問題研究所
(主催者事務局) 大阪市北区天神橋1-13-15 グリーン会館4階 大阪自治労連 公営企業評議会内
TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 e-mail: s_suirou@yahoo.co.jp